

# ともしび

## 院長通信

8月30日の衆議院選挙では歴史的な政権交代が現実のものとなりました。実は私はあそこまでの大差になるとは考えていなかったのですが、来年の参議院選挙は自民党候補者を応援してある程度戦えると思っていました。しかしあの結果を考えると勝つ選挙は難しいと考えるようになりました。日本医師会や日精協は「政権政党としての自民党」を応援するという立場をとってきまして、その簡単に応援政党を変えるのは武士道にもとるのではないかと考えておりますが、日本医師会は民主党支持者も多く「政権政党として」の自民党ではなくなったのだから応援政党を変えることは問題ないという意見が多いようです。日精協政治連盟としては本年3月に西島英利候補を推薦することを機関決定しており、「自民党の推薦を受けた」西島候補を応援することが決定しています。日精協のこの姿勢はいわゆる武士道に合っていると思います。しかしこれからの医療政策というものは政党任せにはできない時代になってきています。政権政党が変わ

第026号  
発行所  
両毛病院  
編集 広報委員会

る度に制度がくるくる変化してそのしわ寄せが国民全体に及んでくるようなことは絶対に避けなければなりません。後期高齢者医療制度の廃止と障害者自立支援法の廃止をマニフェストで唱えていた民主党ですが、最近ではすぐには見直しを行わない方向になりつつあるようです。これらの制度ができてきた今までのいきさつを検討してみても、すぐに対案を出せる状況ではないことに少し気づいたようです。後期高齢者医療制度をなくし以前と同じ保険制度に戻した場合、若者の医療費負担がとてつもなく多くなり、医療保険の赤字化に歯止めがかからない状況になります。障害者自立支援法の自己負担分を以前のようにならせず、その財源はどこにもありません。民主党が政権政党のうちには消費税を上げないと公約していますが、その代わり赤字国債は出すという政策も考えられているようです。我々としては様々な政策の財源をどこから捻出するのか厳しく監視することが求められているように思えます。

第316号 院長 秋山 一郎

### 『明るい未来の私』

少しでも体調の悪い方は  
読まないでください

勤めて10年、病院勤務も残りわずかとなったある日、初めて「ともしび」への原稿の依頼があった。この珍しく忙しいときになんで？という腹立たしさ、やっと自分が認められたような喜びが交錯して、怒り笑いのような不思議な気分になったのを覚えている。

ところでみなさんには関心ない、勝手にしろと思われて当然だが、いったい私は、これからどうなるのだろう。来年のことを語れば鬼が笑う、ということわざがある。平均寿命80歳というものの、50代も半ばをすぎると、たまた同世代の方々の訃報に接するようになる。それでも人生50年といわれた時代は、幸いなことにとつづく昔に過ぎてしまい、年金でさえ60うん歳にならないと頂けない、それも怪しいと危ぶまれている昨今である。しかたがない、ここところはもう少し働こう。

ちよつとでも難しい仕事を抱えたと知恵は出ず、出るのはため息ばかり。落ち着きなくそこらを徘徊するのが常の私である。が、それでもちよつと年金が出るまでは働かないと。古女房ともかく、これも私の稼ぎにすがっている老犬が路頭に迷い保健所に連れて行かれる、思うだに忍びない。

そうだこうしては居られない。健康

診断今年はまだだ。インフルエンザの注射もうけなくては。たちの悪い病気になるようなところへの外出は控えよう。歯も1日1回は磨かなくちゃ。煙草もやめよう。酒は減らそう。そうしたらメタボも多少は改善するかも。

身体方面にばかり気を配るのは片手落ち、これからの人生、気の持ちようにも留意と配慮が肝要である。人様には絶えず笑顔で接し野卑な言葉遣いを慎み、声を荒げず猫背をただし明るく楽しく働こう。特に勤務中のセクハラ的言葉はご法度、痴愚をこぼさず陰口や野次はもつてのほかなどなど、あまりにも自戒は多く書いても書いても疲れ、もう読むのをやめてしまつたそのあなた、まともです。

朝の東京の満員電車内、線人身事故のため遅延と、ほぼ毎日のようにテロップが流れる。ギョウギョウで身動きのとれない無言の乗客、誰一人嬉々として職場に向かっているようには見えない。明るい未来を信ずる私は、満員電車の中で1人ニコニコしている。「痴漢！」と叫ばれる日もそう遠くはないだろう。駄文を締めくくるにあたり、非力な私を支えてくれた皆様、本当にありがとうございます。

医務課 医師 井上 栄吉

星に願いを...

7月7日、作業療法室にて七夕会を行いました。たくさんのお患者さんが参加され、皆さん今か今かと待ちわびていた様子でした。

司会者の挨拶から始まり、七夕の由来についての話になると「なるほど」「へえ」と驚いた反応をされる方や「知っているよ!!」と自慢気に手を挙げる方など、リアクションは様々でした。挨拶が終わった後、様々なゲームを行いました。盛り上がるか少し心配しましたが、皆さんの協力もあり、無事に行うことができました。特にイントロクイズは好評で、大きな声で「なつかしいなあ」という声も聞こえていました。最後にアイスクリームを食べ、終わりました。

リハ課



来年こそは!

7月9日、宇都宮市体育館にて、日精看バレーボール大会が行われました。私は今年で2回目の参加となりましたが、楽しみな行事の1つとなっていました。今年の4月からバレーボールの練習も週1回となり、みんなで集まる機会も増えました。大会に向けて、当院バレーボール同好会メンバーのみの練習だけではなく、他のチームとの練習試合をしたりと頑張っていました。

そして大会当日。最初は緊張もあり動きもなんとなく硬かったけれど、徐々に会場の雰囲気にも慣れて、チーム一丸となつて試合をすることが出来たと思います。しかし、残念ながらあまり良い結果を残すことは出来ませんでした。「あと一点でセットとれたのに...」と、去年よりも手に汗にぎるドキドキした試合がたくさんありました。両毛チームとしては、次の大会につながるような結果だったのでないかと私は心の中で思っています。結果よりも、チームのメンバーの1人として、今年も大会に参加できたことが、何よりも嬉しかったです。

リハ課

満腹!笑顔!楽しいひととき

9月4日金曜日、午後6時30分より毎年恒例の納涼祭が行われました。始まる少し前に雨が降りだし、野外で出来ないのではと心配をしましたが、始まる前雨は止み、しのぎやすい気温の中、夕食を少し控えて準備ばんたんの患者さん達が、たくさん参加することができました。

副院長の挨拶から始まり、患者さんや新入職員の皆さんのカラオケやゲストの岡さんのステキな歌を聴きながら、患者さんも職員もニコニコと笑顔で、スーパや焼きそば、デザートなどたくさんのおいしい料理、ジュースなど飲み物も戴き、とても楽しい時間を過ごすことができました。

お天気も時間がわかっていたかのように、終了時間際に再び雨が降り出して来てしまい、カラオケの予約を入れていた数人の患者さんが歌うことが出来なくなってしまうましたが、今年も無事に開催できたので本当によかったと思います。

看護課



両毛ボンバース大健闘!!

去る9月10日、佐野市民体育館にて安足地区ソフトバレーボール大会が行われました。今大会には8施設17チームが参加し、どのチームも選手はもちろん、応援団も気合い十分といった感じでした。試合が始まると緊張した様子も見られましたが、お互いの声をかけ合いながら徐々に本来のペースをつかみ勝ち進んでいきました。惜しくも決勝進出とはなりませんでしたが最後は白熱した試合を制し、昨年に続き両毛ボンバースが第三位と大健闘でした。試合の後は、田村屋でおいしいラーメンを食べて、お腹も満たされ笑顔あふれる楽しいひとときを過ごすことができました。

看護課



同好会紹介(3)

バレーボール同好会

「もう少し練習できたらいいね。」などの話があり、数年前より月1回の練習になりました。同好会のメンバーも徐々に増え、現在20名になりました。メンバー全員が大会に出場することは難しいのですが、試合に関係なく毎回練習に参加している熱心な人も、たくさんいます。もちろん同好会に入った頃と比べると、実力はかなりついてきていると思いますが、練習はその時によつて参加人数が異なり、男女混合のチームでゲームを中心に楽しくやっています。時には白熱し、怖くてボールから逃げる人、正面から勝負する人といろいろです。他のチームと練習試合をすることもあります。

現在は「もつと上手になりたい」とか「もつと体を動かしたい」というメンバーの意見を参考に、月1回の練習から週1回の練習になりました。その練習のお陰か、以前は試合でなかなか勝てませんでしたが、年々力を付け、今年の日精看バレーボール大会では、もう少しで決勝トーナメントへ行ける位になりました。試合内容も接戦が多く、ラリーが続くと何が何でももう1点、このセットは取りたい!!と選手全員が一丸となりボールを追っています。

こんなにバレー熱心な私達ですが、学生の頃、部活でバレー部だったわけではなく、ほとんどのメンバーは体育の授業で行った位の経験です。そして、毎回練習してるところに、徐々に上手くなつた人がほとんどです。バレーが好きで好きな人、体を動かすのが好きな人の集まりです。

看護課



「このような福祉制度や活動があるのを知っていますか。」

精神科の外来に通院されている方が、安心して治療が受けられるための制度や社会復帰に向けた支援事業など、利用可能な福祉サービスがあります。今回は、そのいくつかをご紹介します。

障害者自立支援法

・自立支援医療

薬代を含む外来通院医療費やデイケア、訪問看護費などの医療費の自己負担を1割とする制度で、世帯の所得に応じて1ヶ月の負担上限額が設定されます。各市町村へ申請し指定医療機関が対象となります。

・障害福祉サービス

地域活動支援事業(福祉ホーム) 当院は、あおぎり寮を運営しています。住居を必要としている人に、低額な料金で、居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。

障害年金制度

日常生活や就労が困難になった場合に支給される年金です。ただし、厚生年金や共済年金、国民年金の被保険者である必要があります。(国民年金加入義務のない20歳未満の方は障害基礎年金になります。)

精神障害者保健福祉手帳

病気によつて長期間日常生活や社会生活で制約を受ける方が得られる手帳です。所得税の控除など税制上の優遇措置や地方自治体によつて様々なサービスを受けることができます。詳細は各地方自治体にご確認下さい。

生活保護制度

病気などで働けない場合、預金やその他の資産を活用しても国が定める最低生活費を下回る場合に、足りない部分について保護費を支給する制度です。

精神科訪問看護

地域で生活している方や家族に対して医療スタッフが自宅に訪問し、社会復帰に必要な指導や病状の経過観察など療養上必要な援助を行います。

精神科デイケア

社会生活に必要な力を身につけ、自信の回復や再発を予防することにより、より健康的な社会生活を送ることを目的としています。

制度によつては一定の条件があるものや有効期限があり更新手続きが必要な制度もありますので、詳しいことは病院スタッフにご相談ください。また政権交代に伴って民主党のマニフェストでは障害者自立支援法の廃止を掲げており、今後制度の内容が変わることも考えられます。



# 読者の声

『夏』といえば盆踊り。当院でも毎年恒例の行事となり、職員も患者さんも、とても楽しみにしています。今年も8月4日の夕暮れに、院庭にはきれいな浴衣の花が咲きました。

浴衣を着ると思うこと…。不思議と背筋がスツと正され、季節感や風情を感じます。年々、日々をおつごとに季節感や風情といった趣は、どこか見失い過ぎてしまいがちですが、その季節に合った催しで、その季節に似合う装いを皆でそろってすることで、季節の変化と趣を毎年改めて実感しています。

中でも両毛八木節は、当院にちなんだ内容の歌詞になっており、当院ならではの趣が感じられますので、ぜひ皆さんも御一聴を。

これからも、患者さんと一緒に四季を楽しめる催しを行っていききたいと思えます。

看護課



## お詫び

10月24日(土)の文化祭講演会と25日(日)に予定しておりました両毛病院文化祭について、安足地区でのインフルエンザの流行により開催を中止とさせていただきますました。急な中止により、お知らせが行き届かず大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

院長

## お知らせ

広報委員会では、皆様からの記事や『ともしび』へのご感想などを随時募集しております。詩やコラム、写真や絵など題材のジャンルは問いませんので、どしどしお寄せ下さい。

また『ともしび』へのご感想やご提案なども随時募集しておりますので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております。

〒327-0843

連絡先  
医療法人秋山会  
両毛病院

栃木県佐野市堀米町一六四八  
〇二八三 二二二 六一五〇